

校長室の窓から

長門市立深川中学校

校長室だより

2021.10.25 No.25

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、そして「授業の秋」です 一人で学ぶ静寂、みんなで学ぶ活気



私たち教員の2学期の目標は、授業を充実させることです。授業研究などの研修機会も多くあり、全教員が自分の授業を充実させようと努力しているところです。

先週、校舎内を歩いていると、1年生は書写に取り組んでいました。一人ひとりが静かに筆を持ち、真剣な表情で半紙に向かう姿はとて^{りん}も凜としていました。一人で黙々と「書き写す」学習活動には、静寂の中でも活気を感じます。授業だけでなく、朝の読書の時間（3年生は自主学習）にも、静寂の中に活気を感じることがあります。

別の1年生の教室は、道徳の授業でした。班で話し合った後、自分たちの意見を述べ合っているところでした。数名の生徒が手を挙げて自分たちの班で出た意見を発表します。発表が終わると、別のところから手が挙がり、発表を終えた生徒の指名で発表がしばらく続きました。発表する生徒もすばらしかったですが、聞き手にも感心しました。多くの生徒が発表している人の方を向いて聞き、内容によっては「ああ！」とか「おお！」などの共感や発見の声が自然に漏れていました。（最後の発表には拍手まで起こりました）

学びは多様です。一人で集中して考えたり習得したりする学びもあれば、級友と一緒に考え、共感したり反論したりしながらものの見方や考え方を深めていく学びもあります。私たちは、学ぶ時の生き生きした表情を作るため、これからも現状に満足することなく、よりよい授業づくりに励んでいきます。（私が参観した道徳の授業を一人の若手教員も教室の入口でのぞいていました。先輩の授業から何かを学ぼうとするその姿勢に感心しながら、自分も学ぶ姿勢を大切にしようと思いました。）

1・2年生、山口県学力定着状況確認問題に取り組む

10月20日（水）、山口県教委が作成したテストに取り組みました。1年生は国語と数学、2年生は国語、数学、理科、英語です。各校で採点した結果を県教委が集約し、全体の傾向を確認していきます。受験生徒には個人票を配付する予定です。

【学舎の隅で】 ▼急に寒くなり、私もクールビズから冬服に替えて出勤しています。先週、家を出る時に雨が止むのと日の出のタイミングが合わさって、東に美しい朝焼け、西に大きな虹が架かっているのを2回も見ました。朝から和みました。

深川中学校区探検 その⑩

【湯本三ノ瀬萩焼深川窯】

三ノ瀬地区には、現在、5つの萩焼窯元が煙を上げています。萩焼の歴史は古く、三ノ瀬地区で作陶が始まったのは約400年前のことです。長門市役所のエレベーター横のロビーには、5人の若手作家（全員が本校の卒業生だと思います）が作った陶器の壁が各階に飾られています。本校の校長室には、第12代坂倉新兵衛氏の花瓶があり、写真を玄関に掲示しています。また、体育館ステージの大型スクリーンは、第13代田原陶兵衛氏が寄贈されたものです。向陽小学校には萩焼の窯があり、毎年三ノ瀬地区の窯元さんの指導により、萩焼づくりを体験しています。